病害虫発生予察情報 技術情報第5号 令和2年度

今後のトビイロウンカ対策について 広島県西部農業技術指導所

令和2年9月17日

対象作物 水稲 (県内全域) 1

2 概況

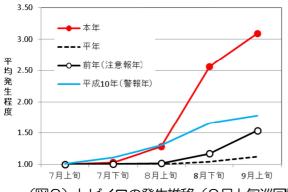
- (1) 広島県では8月13日にトビイロウンカ(以下トビイロ)(図1)について警報を発表している。
- (2)9月上旬の巡回調査では、これまで発生の目立たなかった県南東部の中生品種でも坪枯れ被害(図 2)が増加しており、前回警報を発表した平成10年の同時期よりも多くなっている(図3)。
- (3)9月上旬の巡回調査では、要防除水準(株当たり5頭以上)を超えるほ場が50%あり、第3世代幼 虫の発生する9月中旬以降、さらに被害の発生が予想される。
- (4)9月上旬の車窓からの見取り調査※では、坪枯れ、変色などの被害ほ場率は18.1%であるが、地域 によっては4割以上のほ場で被害が発生している(表1)。
- (5) 予察田(呉市安浦町)での9月第3半旬調査では、トビイロの主な発生ステージが卵期となってい るため見かけ上の発生虫数は減少しているように見える。しかし、第3世代の若齢幼虫の発生がみ られている (図4)。
- (6) 中国地方1か月予報(9月17日発表)では、今後発生に好適な気象条件となっている。



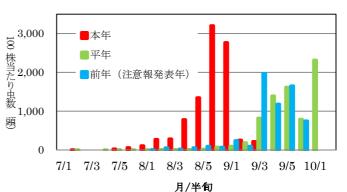


(図1) トビイロ長翅型成虫(左)と老齢幼虫(右2頭)

(図2)トビイロによる坪枯れ被害



(図3)トビイロの発生推移(9月上旬巡回調査) (図4)予察田における100株虫数の推移



(表1) 9月上旬地帯別トビイロ被害ほ場率

===	調査	坪枯れ発	変色	被害
中山	ほ場数	生ほ場数	ほ場数	ほ場率(%)
三原市	112	20	25	40.2
尾道市	173	15	34	28.3
福山市	270	1	18	7.0
広島市	11	3	0	27.3
呉市	154	22	6	18.2
竹原市	83	29	4	39.8
東広島市	74	26	3	39.2
三次市	235	16	9	10.6
庄原市	301	8	10	6.0
府中町	52	8	3	21.2
世羅町	237	11	5	6.8
神石町	283	102	13	40.6
広島市	378	122	23	38.4
三原市	65	9	2	16.9
東広島市	734	90	10	13.6
安芸高田市	338	39	34	21.6
庄原市	642	13	23	5.6
安芸高田市	91	17	7	26.4
北広島町	317	41	4	14.2
		592	233	18.1
	尾福広呉竹東三庄府世神広三東安庄安市市市市市原広次原中羅石島原広芸原芸市高市市町町町市市島高市高市高市高市市田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	市町 ほ場数 三原市 112 尾道市 173 福山市 270 広島市 11 呉市 154 竹原市 83 東広島市 74 三次市 235 庄原市 301 府中町 52 世羅町 237 神石町 283 広島市 378 三原市 65 東広島市 734 安芸高田市 642 安芸高田市 91	市町ほ場数生ほ場数三原市11220尾道市17315福山市2701広島市113呉市15422竹原市8329東広島市7426三次市23516庄原市3018府中町528世羅町23711神石町283102広島市378122三原市659東広島市73490安芸高田市33839庄原市64213安芸高田市9117北広島町31741	市町 ほ場数 生ほ場数 ほ場数 三原市 112 20 25 尾道市 173 15 34 福山市 270 1 18 広島市 11 3 0 呉市 154 22 6 竹原市 83 29 4 東広島市 74 26 3 三次市 235 16 9 庄原市 301 8 10 府中町 52 8 3 世羅町 237 11 5 神石町 283 102 13 広島市 378 122 23 三原市 65 9 2 東広島市 734 90 10 安芸高田市 338 39 34 庄原市 642 13 23 安芸高田市 91 17 7 北広島町 317 41 4

※調査数は、車窓から被害ほ場を計数する見取り調査による。

3 防除対策

- (1)次の幼虫発生盛期は9月中旬~10月上旬頃と予測される(表2)。トビイロは、卵や成虫に対する薬剤効果が低いため、幼虫発生盛期が防除適期となる。
- (2) トビイロは地域によって発生状況が異なるため、実際のほ場の発生状況を確認して防除する。
- (3) 収穫予定の近い品種で被害発生が確認された場合は、可能な限り早めに収穫する。
- (4) 10 月以降収穫予定の品種で被害発生が確認された場合、またはトビイロの発生が多い場合は、収穫前日数など使用基準を遵守して防除を行う。
- (5) 本年は近年で最大級の発生量が見込まれるため、基幹防除を行ったほ場でも発生が多い場合は速やかに追加防除を行う。

表2 トビイロの発生と防除適期の予測

地帯	地点	幼虫発生盛期			
	(アメダス)	2回目(第2世代幼虫)	3回目(第3世代幼虫)		
南部 ·	福山	8/21~8/28	9/16~9/29		
	呉	8/21~8/27	9/17~9/26		
中東部	三次	8/26~9/1	10/2~		
	庄原	8/28~9/5	10/2~		
中西部 -	東広島	8/26~9/2	9/23~		
	広島	8/20~8/28	9/13~9/23		
北部 -	高野	9/4~9/18	_		
	大朝	8/31~9/11			

- 注) 飛来日7月6日, 7月11日, 発育零点 12.1℃, 有効積算温度 183 日度として, 県内アメダスデータをもとに, JPP システムを利用して予測。
- (6) 飼料用稲、飼料用米で防除を行う際は、実需者に防除の可否を確認し、農林水産省の「稲発酵粗 飼料生産・給与技術マニュアル」を参照して薬剤を選定する。
- (7) 8月中下旬の防除適期に防除を行っていないほ場では、特に発生に注意する。
- (8) トビイロウンカは株元付近に生息する。粉剤や液剤により防除を行う際は、薬剤が株元に十分届くよう散布する。
- (9) 収穫時期に近い防除となるため、農薬を散布する際は使用時期(収穫前日数)、使用回数等使用基準を遵守する。

● お問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム 東広島市八本松町原 6869 TEL: 082-420-9662 (直通)



広島県 植物防疫

検索 💍



ホームページ(植物防疫) (https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html)